

校長室より⑪ 「用」＝「自分にしか果たせない仕事」

○今日も富士宮西高等学校のホームページを御覧いただき、誠にありがとうございます。

3月1日（日）、本校では「第43回 卒業証書授与式」が行われました。

○感慨深い一日です。

いつもであれば…、朝のSHR（ショートホームルーム）で一日がスタート。午前の授業は1限から4限まで。

昼休みの賑わいを挟んで午後には5、6（曜日によっては7）限。帰りのSHR、清掃を済ませ、各々部活動、委員会活動へ…。それぞれの放課後が待っています。

ですが…、高校生は皆「卒業」を境に、こうした「当たり前」の毎日からも「卒業」させられるのです。（「卒業する」ではなく、敢えて「卒業させられる」と記してみました。）

クラス担任の先生方も、実は寂しくって仕方がないものです。

かつてある学校の、とあるホームルームでのこと…。

式典が終わって、卒業生とクラスに戻ります。教室後ろ、そして教室前の廊下には、保護者の皆様が見守っていてくださる、そうした中でお話をさせていただく、心にしみる、最後の大事なひととき。お礼と、そしてエールをしっかりと贈る場面のはずでした… が、

この担任の先生は、感極まって思わず、こう言い放ったそうです。

「君らには、卒業してほしくはない。明日から、私は一人きりになってしまうじゃないか！」

○あ那时候、その担任の先生は至って真剣だったのです。

2年間、複数名は入学時から3年間、励まし、励まされ、見守ってきた、まるで身内のような生徒との「お別れ」を意識したとたんに、感情をセーブできなくなったそうです。

おそらく冷静に振り返ってみれば、恥ずかしくもあるでしょう。一方でそれほど有難い出会いに恵まれた、とも言えるのです。これほどまでに、こみ上げてくる「思い」があったのですから。

○西高、卒業生の皆さん。

校長式辞の中で、君らへのエールとして、『将進酒』（李白）の一節を紹介しました。

白文で記せば 「天生我材、必有用。」 となります。

私はここでいう「用」を「仕事、役割」として、君らに紹介しました。

「自分にしか果たせない仕事」「自分にしか果たせない役割」として、示しましたね。

○誰一人、例外なく、人にはその方にしか果たせない「仕事」があるのだと、伺ったことがあります。今の学びや経験や、あるいは試練や逆境や、それらを通して、知らず知らず、私たちは鍛えられているそうです。自分の「仕事」「役割」を果たせるだけの「力」を身に付けるために。今日の式典、校長式辞で卒業生の皆さんに伝えさせていただきました、君らは西高3年間の生活の中で、学び方や試練とのお付き合いの仕方、それらをしっかり経験してきたのだ、ということ。ここで学んだ気持ちや姿勢を、生涯忘れることなく、これからも磨き続けていてください。

研究を通して、お仕事を通して、それらの出来もさることながら、もっと大事なことがあるのだとしたら、それはどれだけ自らの「人間性」を高めることができたのか、ということではないでしょうか？良いお仕事をされる方は、周りの皆を元気にします。大変なお仕事を抱えられているはずなのに、いつも笑顔で優しい。安心して働かせていただける、そうしたすばらしい方々との出会いが、これから先、君らを待っています。人としての物の見方、考え方、とらえ方。

キャリアを重ねた分だけ、輝きを増していけたら、「人として」すばらしいですね。

○富士宮西高校 第43期生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

「新しき時代を拓き われらは進む おお 富士宮 富士宮西高校」

人生100年。君たち一人ひとりが、どうか、より良き出会いに 恵まれますように！

校長 鈴木邦浩